



**2015年 3月期
第2四半期 (4-9月)
決算説明会**

2014年11月10日

石油資源開発株式会社

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注: 本資料において 1H,2H はそれぞれ上期、下期を、
(a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話 03-6268-7111

説明会の内容

I. 事業の概況

代表取締役社長 渡辺 修

II. 2015年3月期 第2四半期 決算の概要

執行役員 山下 通郎

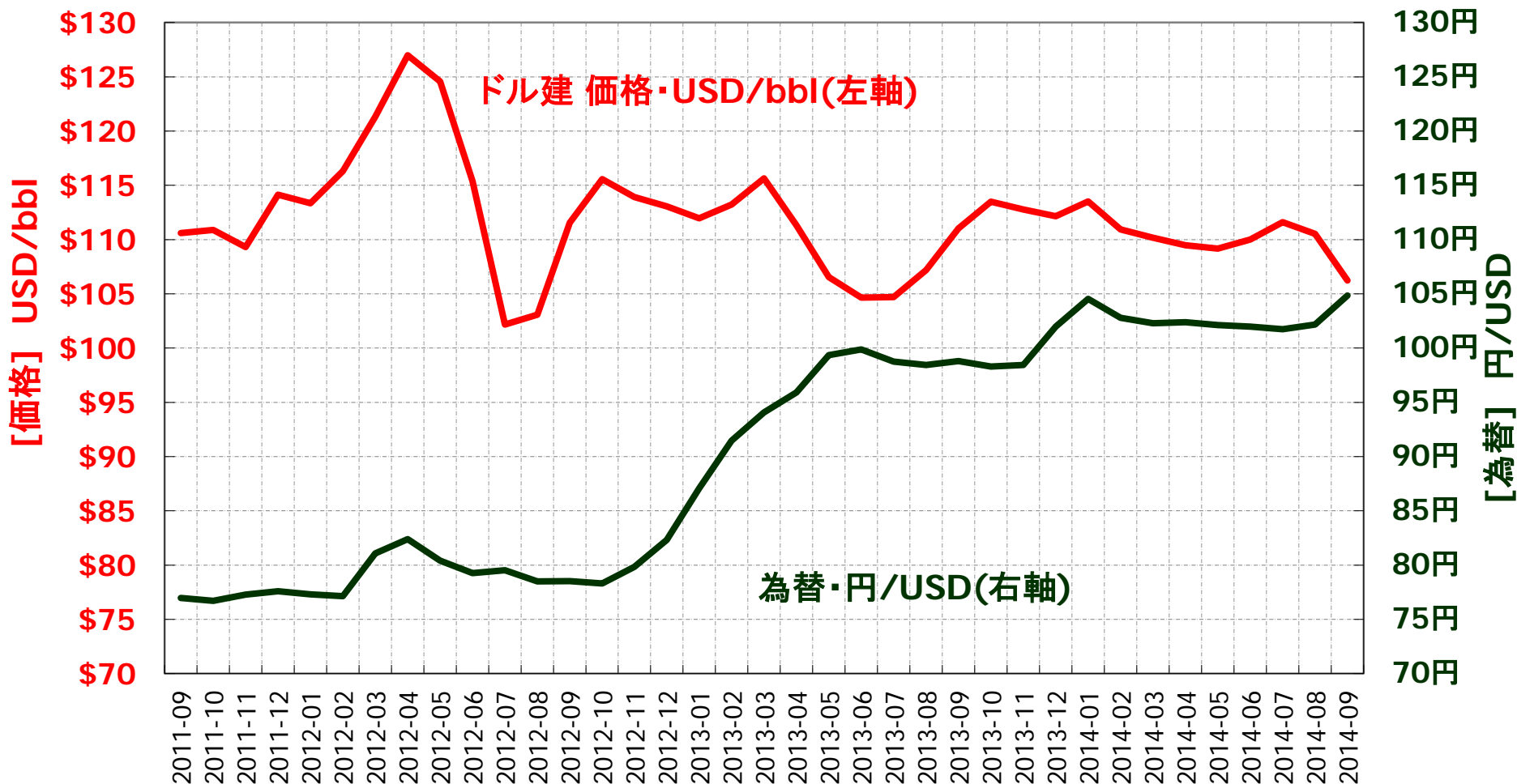
III. 2015年3月期 通期業績予想修正の概要

執行役員 山下 通郎

I. 事業の概況

代表取締役社長
渡辺 修

原油価格と為替の動き



2014年10月上旬(10/1-10/10)分のCIF価格(速報)

USD 102.81/bbl 108.49円/USD

2015年3月期 通期業績予想修正(ハイライト)

[億円]	14/3月期	15/3月期				比較増減	
	4-3月通期実績 (a)	4-9月 1H 当初予想 (e) 5.12公表 ①	4-9月 1H 実績 (a) ②	4-3月通期 当初予想 (e) 5.12公表 ③	4-3月通期 今回予想 (e) 11.7公表 ④	4-9月 1H 比較 (②-①)	4-3月 通期 比較 (④-③)
売上高	2,765	1,575	1,468	3,236	3,243	▲106	+7
営業利益	246	143	151	330	346	+7	+16
経常利益	438	201	247	414	488	+45	+73
当期純利益	290	135	188	273	353	+52	+79

[油価と為替の前提]

原油CIF価格 (USD/bbl)	110.51	100.00	110.06	100.00	101.27	+10.06	+1.27
為替/USD (円/USD)	99.31	100.00	102.13	100.00	103.43	+2.13	+3.43
ピチューメン価格 (CAD/bbl)	51.67	54.42	58.93	54.15	58.16	+4.51	+4.01
為替/CAD (円/CAD)	98.42	95.00	95.04	95.00	95.00	+0.04	—

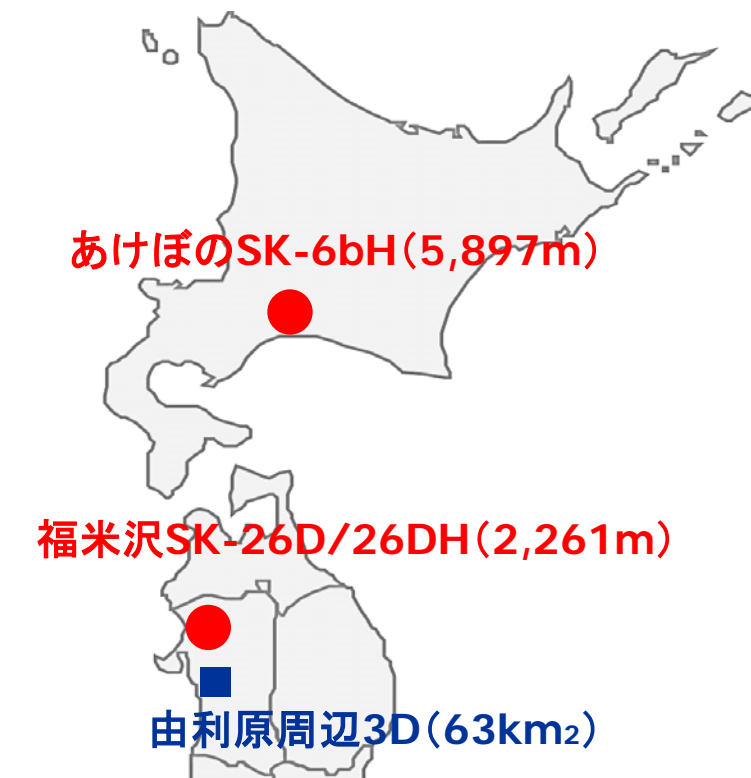
[(参考)今回予想における四半期毎の油価と為替の前提]

15/3月期 11.7公表予想	1Q 実績	2Q 実績	3Q 予想	4Q 予想
原油CIF価格 (USD/bbl)	109.51	110.70	100.00	85.00
為替/USD (円/USD)	102.27	101.96	105.00	105.00

国内探鉱 上期実績と下期計画

● 2015年3月期 掘削作業の実績・計画

名称	掘削深度	1Q			2Q			3Q			4Q		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
あけぼのSK-6bH (探掘井)	5,897m	[Red bar indicating drilling progress]											
福米沢SK-26D/26DH (タフトオイル探掘井)	2,261 m	掘削作業						フラクチャリング作業					



■ 2015年3月期 物理探鉱作業の実績・計画

3D震探	秋田県 由利原周辺3D (63km ²)	10月作業開始
------	----------------------------------	---------



国内事業の収益力強化 秋田タイトオイル

鮎川油ガス田:

2014年4月1日～
商業生産開始

⇒鮎川油ガス田での女川タイト
層の知見習得



鮎川油ガス田での実証試験の様子(2012年)



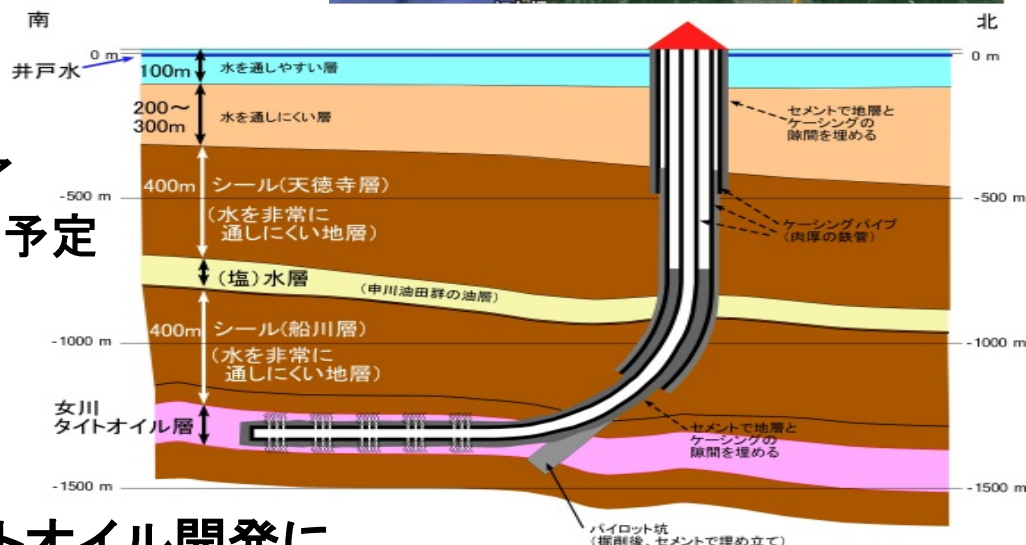
福米沢(ふくめざわ)油田:

我が国初のタイトオイル層多段フラク
チャリング実証試験を遂行中

2014年7月6日 水平井掘削作業完了

2014年11月下旬 フラクチャリング作業開始予定

⇒福米沢油田の増産の可能性



福米沢油田での実証試験概念図

秋田県に広く分布する女川層タイトオイル開発に
係る知見習得の大きな寄与に期待

国内天然ガス事業の強化 相馬LNG基地

■相馬LNG基地設備概要

①適用法規		ガス事業法
②敷地規模	用地面積	約20ha
③貯槽	容量 LNG性状	当初 PC型23万kl 貯槽 1基 (将来増設余地あり) 軽質LNGの受入にも対応可能
④受入設備	LNG外航船 LPG内航船	1式 (最大 21万m3級) 1式 (最大 2,500m3級)
⑤気化器	送出能力	7.0MPa 150t/h (将来増設余地あり)
⑥出荷設備	LNG内航船 LNGローリー	最大 4,800 m3級 5レーン、30t/h (将来増設余地あり)



相馬LNG基地完成イメージ

■建設スケジュール

2013年 11月27日	最終投資決定(FID)
2014年～	基地建設開始予定
2017年末	基地完成予定
2018年3月	操業開始予定

Canada Pacific NorthWest LNGプロジェクト～相馬～顧客までのサプライ・チェーン



海外事業 重点地域での取り組み

⑤シェールガス・LNGプロジェクト
(ガス生産中 液化設備開発検討中)

④オイルサンド(生産中&開発)

英領北海
探鉱鉱区 (探鉱)

③サハリン1プロジェクト
(生産中&開発)

カナダ

英国・ノルウェー

サハリン

シェールオイル
(生産中&開発)

中東

②イラクガラフ油田
(生産中&開発)

東南アジア

①カンゲアン鉱区 (生産中&開発)

アチェA鉱区 (開発&探鉱)

ユニバースガスアンドオイル (生産中)

重点地域

連結子会社及び持分法適用関連会社が
権益を保有する主な鉱区

海外事業現況 ① インドネシア カンゲアン鉱区

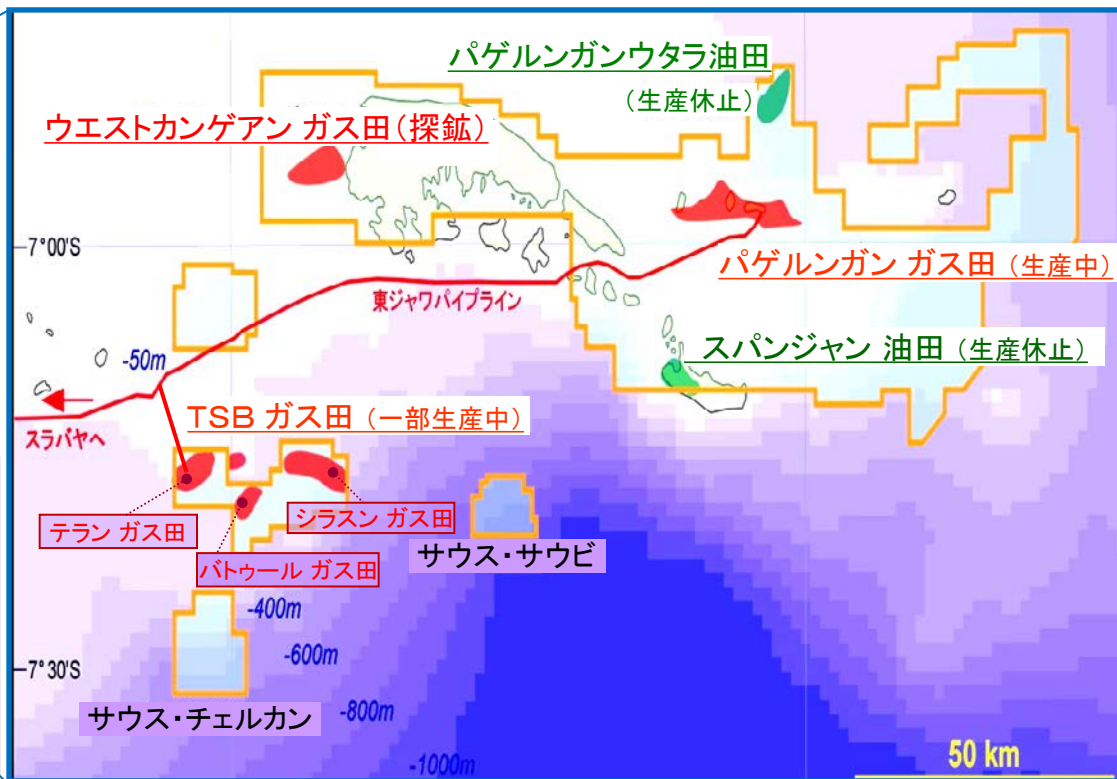


プロジェクト会社

**Kangean Energy
Indonesia Ltd. (KEI)**
他2社：持分法適用会社

権益比率

25% (オペレーター：KEI)



■ 現在の生産規模は、原油換算で日量約5万バレル

□ TSBガス田 (Phase1 テラン)：2012年5月末生産開始、
最大生産日量3億立方フィート(原油換算で約5万バレル)
(Phase2 シラスン、バトゥール)：開発準備中



海外事業現況 ② イラク ガラフ油田開発

プロジェクト会社	(株)ジャペックスガラフ	
参加比率	30% (資金負担40%) オペレーター：PETRONAS	
油田名	ガラフ油田	生産中
2013年	累計生産量	2030年



■開発スケジュール

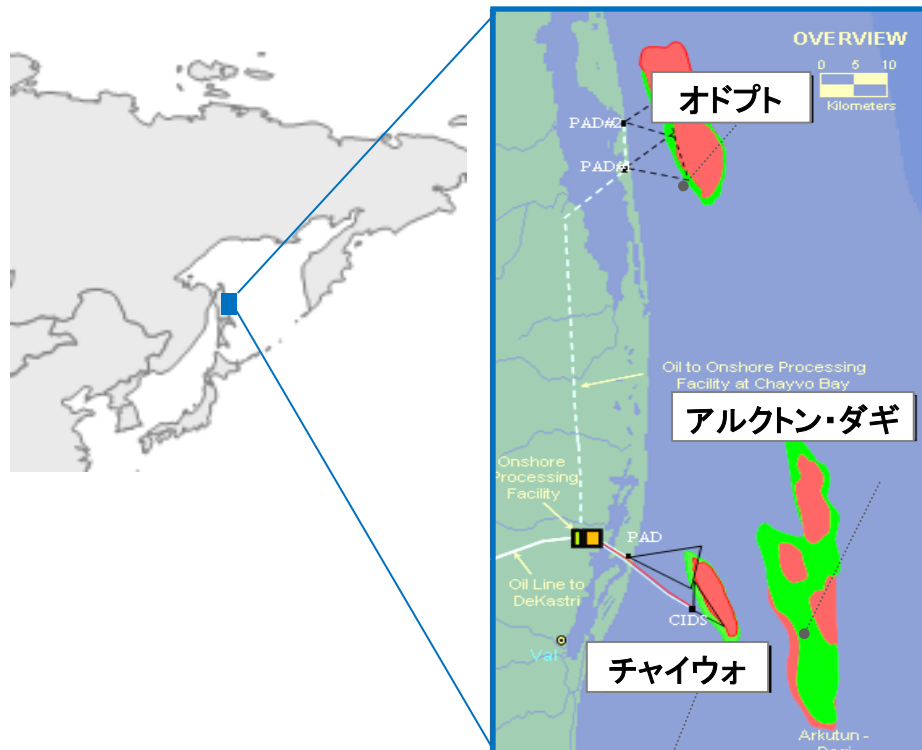
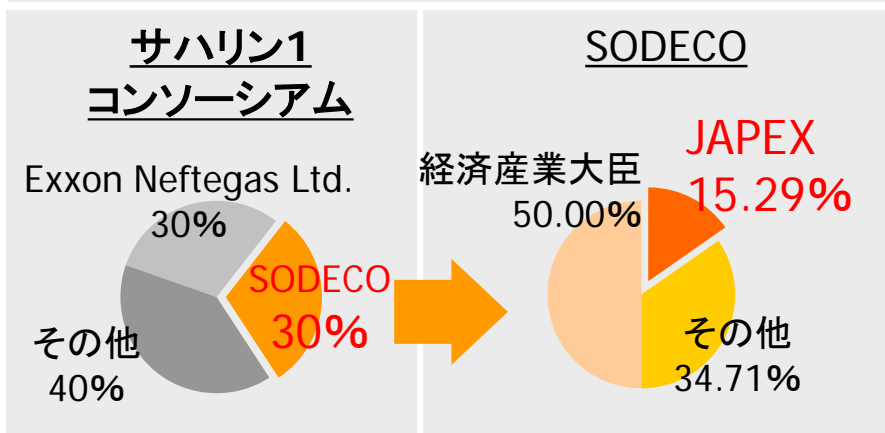
2013年	8/31 ガラフ油田 生産開始 平均生産量：日量約64,000バレル
2014年～ 2016年	2014年平均生産量(10/18時点)： 日量約83,000バレル 段階的に生産量引き上げ
2017年	日量 23万バレル 到達予定



海外事業現況 ③ サハリン1 プロジェクト

プロジェクト会社
サハリン石油ガス開発株 (SODECO)
持分法適用会社

権益比率

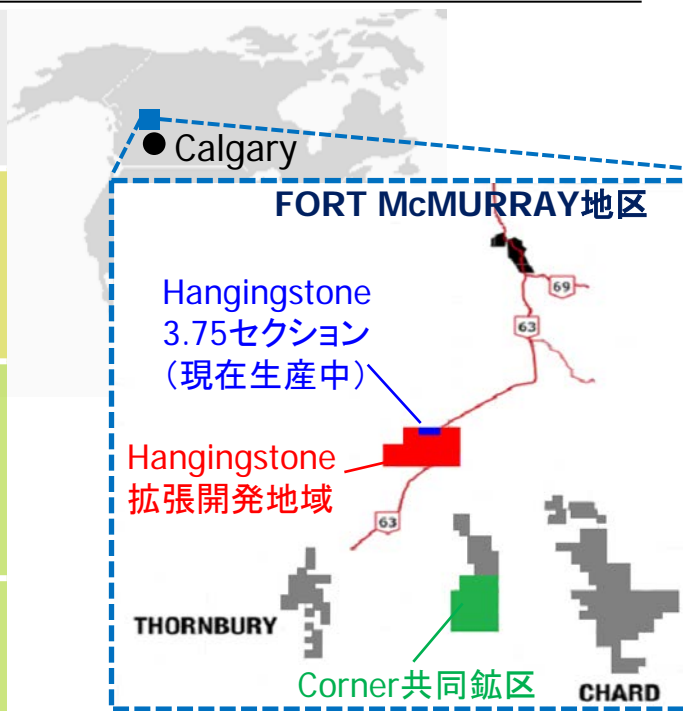


鉱区	チャイウオ、オドプト	生産中 合計原油生産量: 日量約13万バレル※ ※当社見積もりによる、プロジェクト全体の2014年平均日量
	アルクトン・ダギ	2014年末の生産開始に向けて開発中



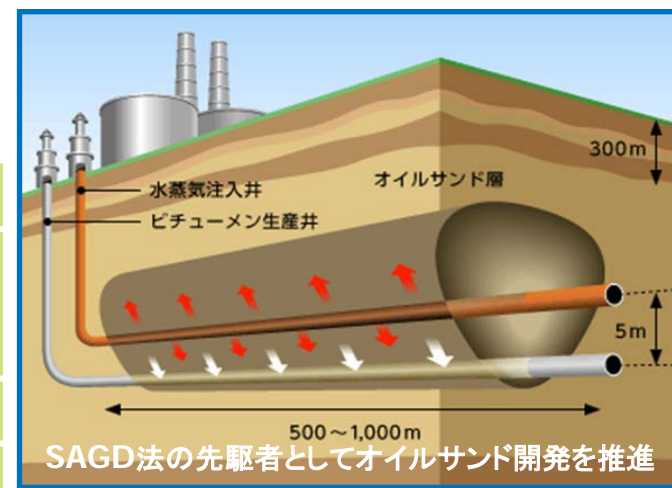
海外事業現況 ④ カナダオイルサンド

プロジェクト 会社	カナダオイルサンド(株) (CANOS) オペレーター: Japan Canada Oil Sands Ltd. (JACOS)	
鉱区	ハンギングストーン3.75 セクション (権益比率) 100% 年間平均日量約 6,000バレル	生産中 (2014年8月 末累計生産量: 3,199万バレル)
	ハンギングストーン未開発地域 拡張開発 (権益比率) 75% 日量 20,000バレル 規模から段階的拡張を予定	開発 作業中
	コーナー共同鉱区 (権益比率) 12%	評価 作業中
	その他ビチューメン鉱区 (コーナー、チャード、ソンベリー等)	検討中



■ハンギングストーン拡張開発スケジュール

2012年	12月: 最終投資決定(FID)
2013年	2月: 開発工事着手(初期土木工事)
	8月: 水平井掘削開始 9月: 主要施設のEPC契約締結
2014年	8月: 初期土木工事完了、現場での施設建設工事開始
2016年	生産開始予定



海外事業現況 ⑤ カナダシェールガス・LNGプロジェクト

	シェールガス開発・生産プロジェクト (上流)	LNGプロジェクト (中流)
鉱区/ プラント 候補地	カナダ ブリティッシュ・コロンビア州ノース・モントニー地域	同州プリンス・ルパート レルー島
当社参加 比率	10% 権益	10% 持分
オペレーター	PETRONAS (子会社含む)	PETRONAS (子会社含む)
現況	シェールガス生産・販売中	設備基本設計を実施中



■プロジェクトスケジュール

2013年4月26日	契約締結
2014年末	LNGプラント最終投資決定(FID)予定
2014年～2018年	LNGプラント建設
2018年末	LNG生産開始(1200万トン/年)



環境・新技術事業の取り組み

太陽光発電事業



北海道鉱業所メガソーラー発電所

CCS



画像提供: 日本CCS調査(株)

CCS観測井の掘削作業



苫小牧

武佐岳地域
(標津町)

磐梯山
周辺地域

渥美半島～志摩半島沖
(第二渥美海丘)

地熱発電事業



武佐岳地域での掘削作業

メタンハイドレート



画像提供: JOGMEC



第1回メタンハイドレート海洋産出試験

プロジェクトタイムライン、ファイナンス計画

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2015年度以降のファイナンス					
							当社資金	国等の出資	借入金	内部収入の充当	その他	
オイルサンド HE開発							✓		✓	✓		
カナダLNG 上流 ガス開発									✓	✓		
カナダLNG 液化事業							✓	✓				✓
イラク・ガラフ油田 能力拡張											✓	
カンゲアン TSB phase 2											✓	
相馬 LNG基地							✓		✓			✓

- 国の出資・債務保証制度、プロジェクトファイナンス等の活用通じ、最適なファイナンス・ミックスを追求
- 2015～2019年度の 要ファイナンス額（5年合計）は 2,000～2,200 億円
- うち1,000億円は当社資金を充当

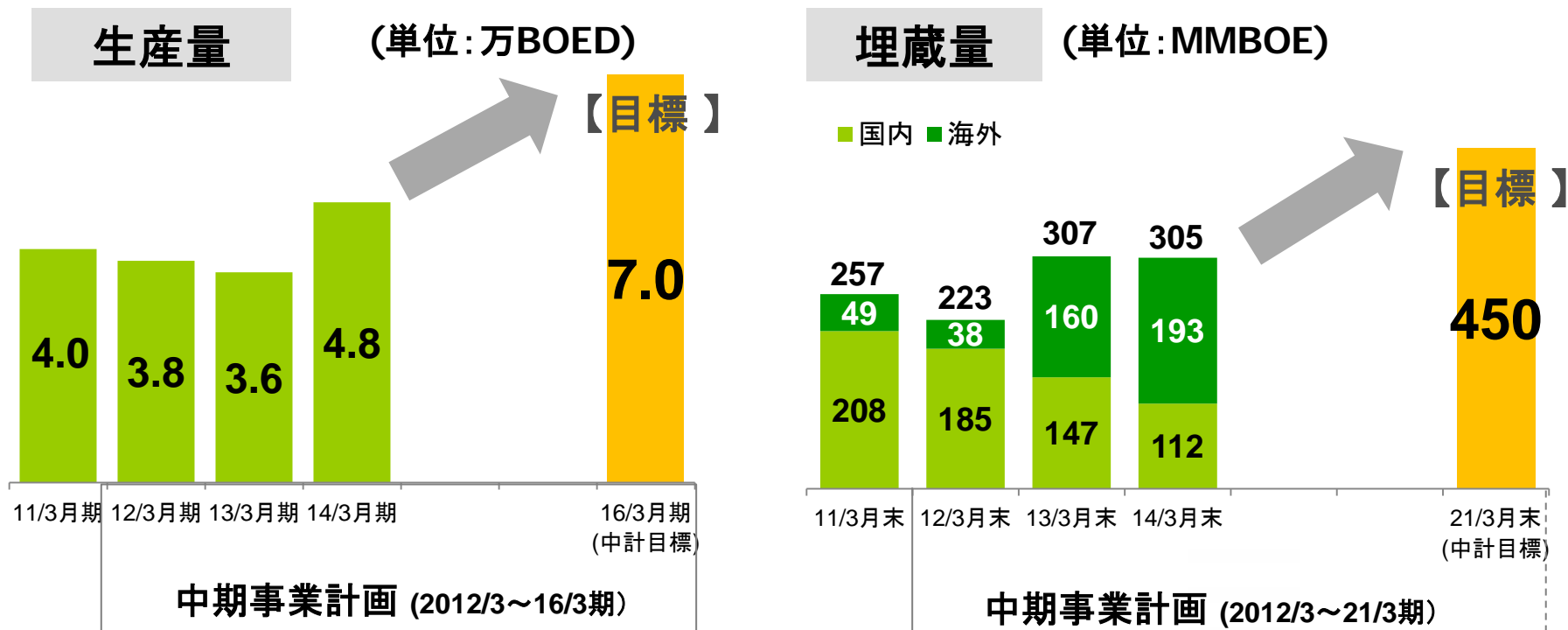
(注1) 資金調達方法及び金額については、現時点における当社の見通しであり、変動する可能性があります。

(注2) 「要ファイナンス額」2,000-2,200億円は、表中の「当社資金」「国等の出資」「借入金」の合計です。

生産量・埋蔵量の目標達成に向けて

◆生産量・埋蔵量の2014年3月期実績はそれぞれ4.8万BOED、305MMBOE

- 生産量はSODECOやKangeanTSBガス田における通年生産の寄与等により約32%増加
- 埋蔵量はカナダシェールガス開発権益の取得等により増加も、国内の減退や評価見直し等により約1%減少
- 今後、更なるカナダシェールガス開発やイラク・ガラフ等の進捗、カナダHangingstone拡張開発、さらには新規案件取得等を通じて中期目標の達成を目指す



※上記生産量、埋蔵量は当社グループの経済的取分相当量

Ⅱ. 2015年3月期 第2四半期決算概要

執行役員 山下 通郎

15/3月期 第2四半期累計期間 決算サマリー

単位: 億円	14/3月期 1H実績 (a)	15/3月期 当初予想 1H (e) 5.12公表	15/3月期 1H実績 (a)	当初 予想比
売上高	1,202	1,575	1,468	▲6%
営業利益	115	143	151	+5%
経常利益	199	201	247	+22%
四半期純利益	158	135	188	+38%

原油CIF価格と為替 (原油CIF: USD/bbl 為替: 円/USD)

原油CIF	108.53	100.00	110.06
為替/USD	97.58	100.00	102.13

ビチューメン価格と為替 (ビチューメン: CAD/bbl 為替: 円/CAD)

ビチューメン	52.22	54.42	58.93
為替/CAD	94.01	95.00	95.04

15/3月期実績と当初予想との差異【ポイント】

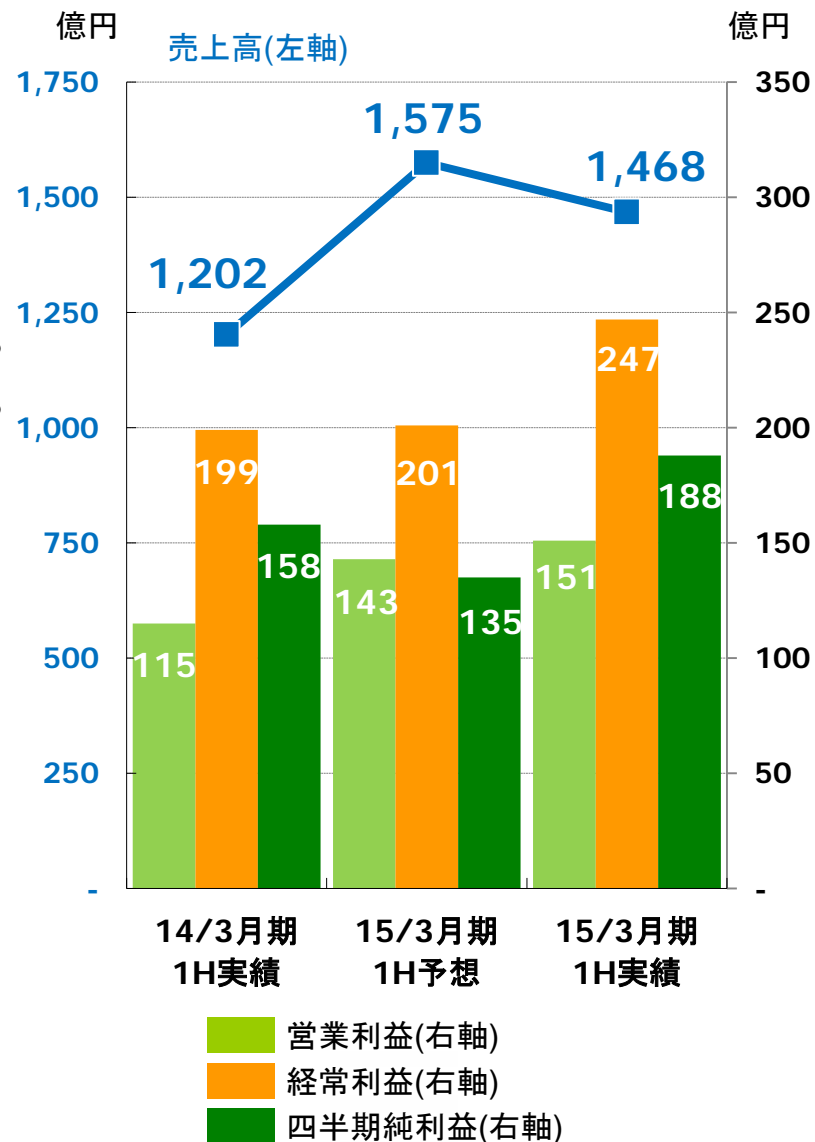
※「増益要因を+」、「減益要因を▲」で記載

□ 売上高 ▲106億円 ガラフ権益原油1船分の販売
第3四半期へ後ろ倒し

□ 営業利益 +7億円

□ 経常利益 +45億円 持分法投資利益 +38億円

□ 四半期純利益 +52億円

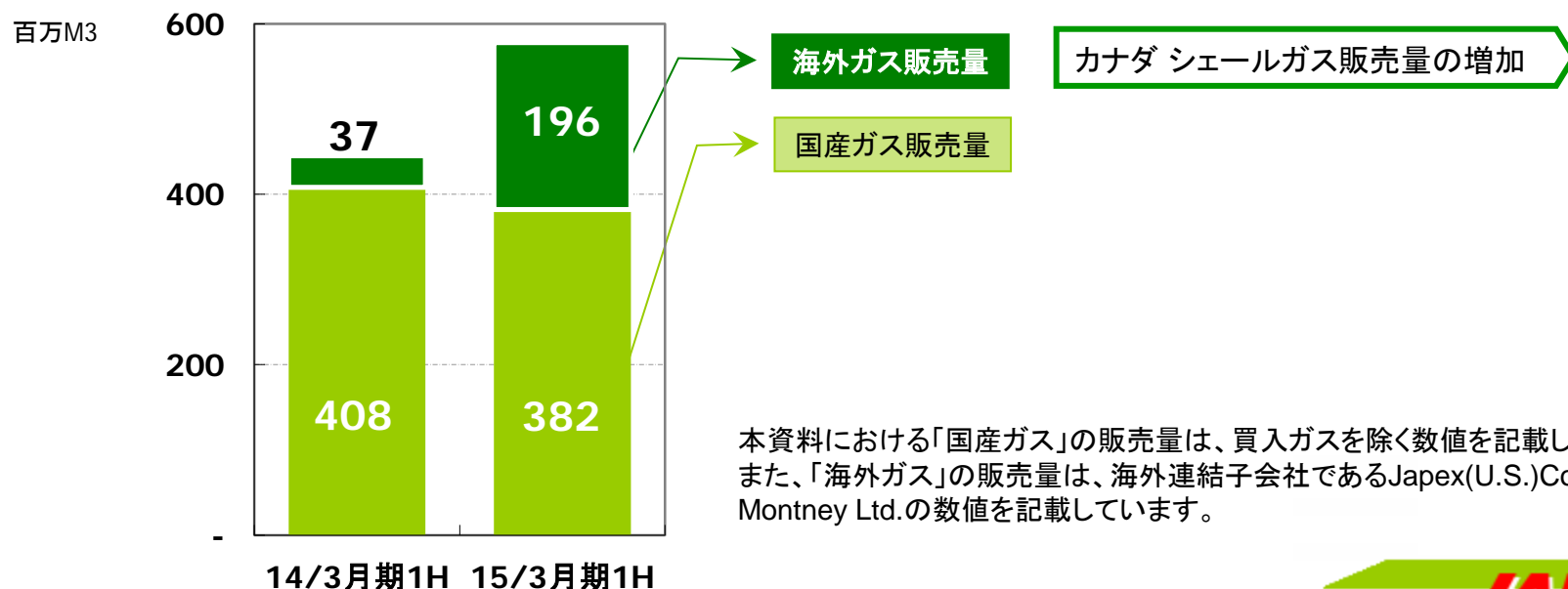


15/3月期 第2四半期累計期間(天然ガス販売状況)

販売量: 百万M3 売上高: 百万円		14/3月期	15/3月期	比較増減
		13/4-9月 1H (a)	14/4-9月 1H (a)	
天然ガス	販売量	614	775	+160
	売上高	31,883	37,458	+5,575

権益天然ガスの内訳

国産ガス	販売量	408	382	▲26
海外ガス	販売量	37	196	+159



15/3月期 第2四半期累計期間(原油販売状況)

販売量: 千KL 売上高: 百万円		14/3月期 13/4-9月 1H (a)	15/3月期 14/4-9月 1H (a)	比較増減
原油	販売量	877	1,107	+230
	売上高	53,919	73,500	+19,581

権益原油の内訳

国産原油	販売量	188	190	+2	販売価格の上昇
	売上高	12,828	13,768	+940	
海外原油	販売量	8	273	+265	ガラフ油田の原油販売開始
	売上高	478	18,568	+18,090	
ビチューメン	販売量	165	152	▲13	販売価格の上昇
	売上高	5,110	5,382	+272	

原油価格と為替の前提

原油CIF	USD/bbl	108.53	110.06	+1.53
為替	円/USD	97.58	102.13	+4.55
ビチューメン	CAD/bbl	52.22	58.93	+6.71
為替	円/CAD	94.01	95.04	+1.03

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティー控除後の数値です。また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャベックスガラフの数値を記載しています。

15/3月期第2四半期累計期間 決算概要(前年同期比)

単位：百万円	14/3月期	15/3月期	比較増減
	13/4-9月 1H (a)	14/4-9月 1H (a)	
売上高	120,281	146,850	+26,568
売上総利益	32,161	34,515	+2,354
探鉱費	5,723	3,260	▲2,463
販売管費	14,893	16,143	+1,250
営業利益	11,543	15,110	+3,567
営業外損益	8,358	9,625	+1,267
経常利益	19,902	24,736	+4,834
特別損益	2	13	+11
法人税等	3,983	4,781	+798
少数株主利益	38	1,095	+1,057
四半期純利益	15,883	18,873	+2,990

損益変動要因 (MEMO)

「増益要因を +」、「減益要因を ▲」
で記載

売上総利益

国内原油天然ガス
海外連結子会社

▲8億円
+35億円

探鉱費

国内探鉱
海外探鉱

+30億円
▲5億円

営業外損益

持分法投資利益
海外投資等損失引当金繰入額
その他

+31億円
▲7億円
▲12億円

Ⅲ. 2015年3月期 通期業績予想

執行役員 山下 通郎

15/3月期 通期業績予想 修正サマリー

単位: 億円	15/3月期 当初予想 通期 (e) 5.12公表	15/3月期 今回予想 通期 (e) 11.7公表	比較増減	当初 予想比
売上高	3,236	3,243	+7	+0%
営業利益	330	346	+16	+4%
経常利益	414	488	+73	+17%
当期純利益	273	353	+79	+29%

原油CIF価格と為替 (原油CIF: USD/bbl 為替: 円/USD)

原油CIF	100.00	101.27	+1.27
為替/USD	100.00	103.43	+3.43

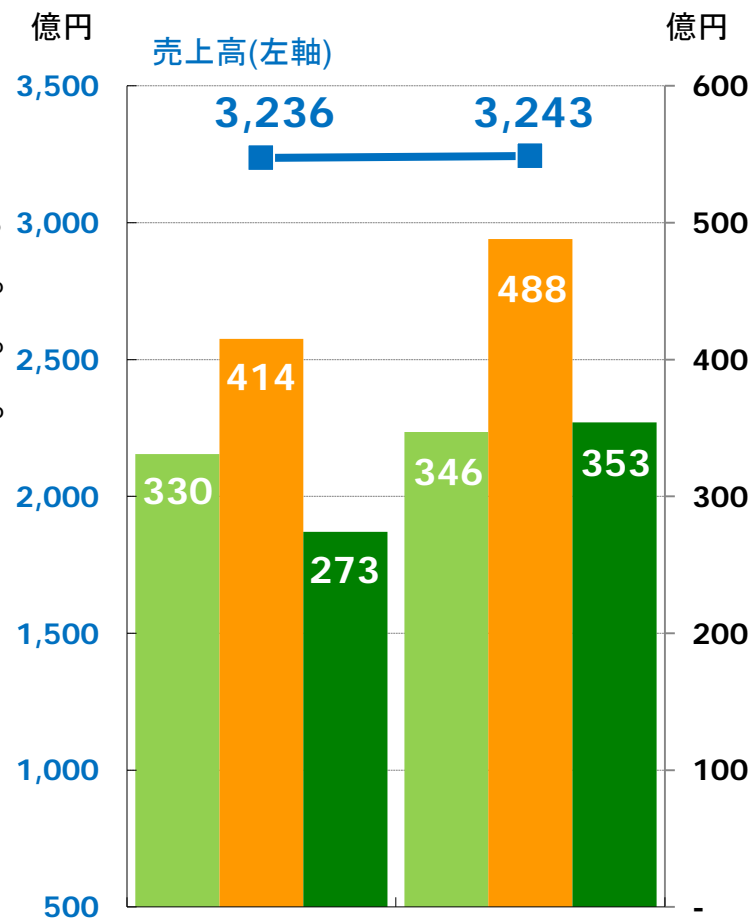
ビチューメン価格と為替 (ビチューメン: CAD/bbl 為替: 円/CAD)

ビチューメン	54.15	58.16	+4.01
為替/CAD	95.00	95.00	—

今回予想	1Q 実績	2Q 実績	3Q 予想	4Q 予想
原油CIF	109.51	110.70	100.00	85.00
ビチューメン	56.57	61.84	55.83	59.27

当初予想との差異【ポイント】 ※「増益要因を+」、「減益要因を▲」で記載

- 営業利益 +16億円 売上総利益 +23億円、探鉱費 ▲8億円
- 経常利益 +73億円 持分法投資利益 +62億円
- 当期純利益 +79億円



当初予想 5.12公表 今回予想 11.7公表

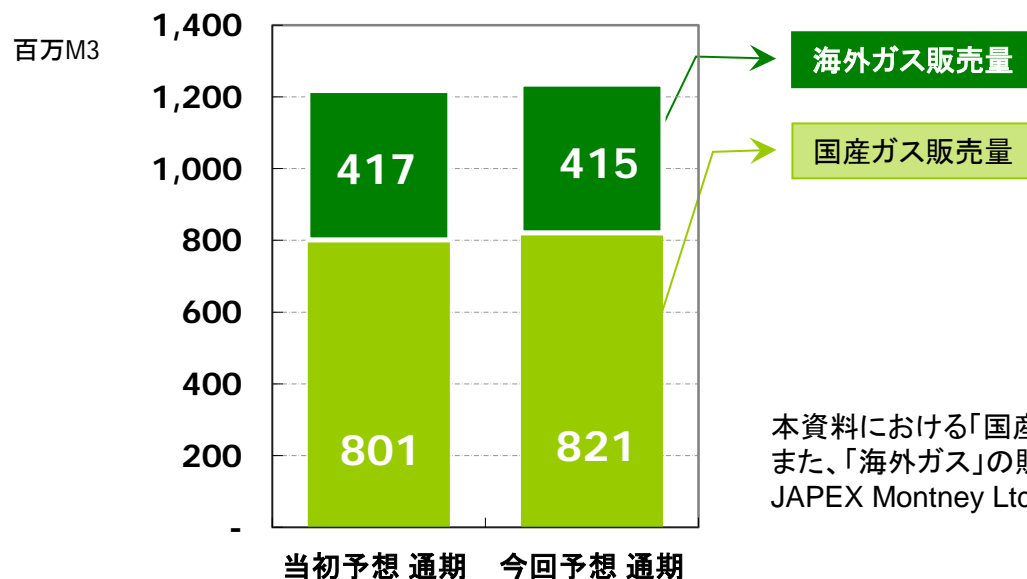
- 営業利益(右軸)
- 経常利益(右軸)
- 当期純利益(右軸)

15/3月期通期 天然ガス販売予想 修正(5.12公表比)

		15/3月期 当初予想 通期 (e) 5.12公表	15/3月期 今回予想 通期 (e) 11.7公表	比較増減
天然ガス	販売量	1,684	1,712	+28
	売上高	80,169	85,337	+5,168

権益天然ガスの内訳

国産ガス	販売量	801	821	+20
海外ガス	販売量	417	415	▲1



本資料における「国産ガス」の販売量は、買入ガスを除く数値を記載しています。また、「海外ガス」の販売量は、海外連結子会社であるJapex(U.S.)Corp.、JAPEX Montney Ltd.の数値を記載しています。

15/3月期通期 原油販売予想 修正(5.12公表比)

販売量: 千KL 売上高: 百万円		15/3月期 当初予想 通期 (e) 5.12公表	15/3月期 今回予想 通期 (e) 11.7公表	比較増減
原油	販売量	2,695	2,517	▲178
	売上高	158,248	152,258	▲5,900

権益原油の内訳

国産原油	販売量	391	378	▲13
	売上高	25,176	25,524	+348
海外原油	販売量	1,223	1,059	▲164
	売上高	73,948	63,496	▲10,452
ビチューメン	販売量	330	330	+0
	売上高	10,666	11,471	+805

原油価格と為替の前提

原油CIF	USD/bbl	100.00	101.27	+1.27
為替	円/USD	100.00	103.43	+3.43
ビチューメン	CAD/bbl	54.15	58.16	+4.01
為替	円/CAD	95.00	95.00	—

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティー控除後の数値です。また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャベックスグラフの数値を記載しています。

15/3月期 通期 業績予想 修正(5.12公表比)

単位：百万円	15/3月期	15/3月期	比較増減
	当初予想 通期(e) 5.12公表	今回予想 通期(e) 11.7公表	
売上高	323,633	324,378	+745
売上総利益	70,611	72,981	+2,371
探鉱費	3,892	4,712	+820
販売管費	33,642	33,588	▲54
営業利益	33,077	34,681	+1,605
営業外損益	8,393	14,138	+5,745
経常利益	41,469	48,819	+7,350
特別損益	▲1	▲10	▲9
法人税等	12,195	11,000	▲1,195
少数株主利益	1,895	2,436	+541
当期純利益	27,379	35,374	+7,996

損益変動要因 (MEMO)
「増益要因を +」、「減益要因を ▲」
で記載

売上総利益

国内原油天然ガス +13億円
海外連結子会社 +8億円

探鉱費

国内探鉱 ▲5億円
海外探鉱 ▲3億円

営業外損益

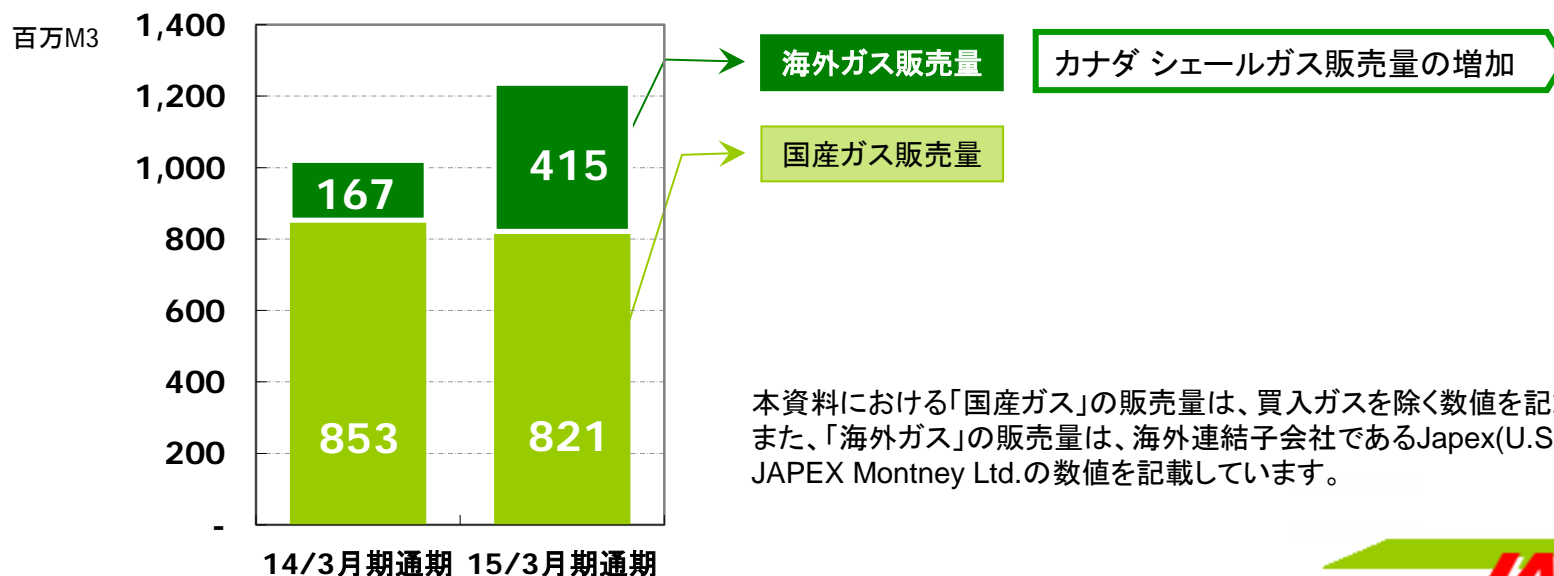
持分法投資利益 +62億円
海外投資等損失引当金繰入額 ▲6億円

15/3月期通期 天然ガス販売予想 修正(前期比)

		14/3月期	15/3月期	
販売量: 百万M3 売上高: 百万円		通期 実績 (a)	今回予想 通期 (e) 11.7公表	比較増減
天然ガス	販売量	1,418	1,712	+293
	売上高	71,584	85,337	+13,753

権益天然ガスの内訳

国産ガス	販売量	853	821	▲33
海外ガス	販売量	167	415	+248



本資料における「国産ガス」の販売量は、買入ガスを除く数値を記載しています。また、「海外ガス」の販売量は、海外連結子会社であるJapex(U.S.)Corp.、JAPEX Montney Ltd.の数値を記載しています。

15/3月期通期 原油販売予想 修正(前期比)

		14/3月期 通期 実績 (a)	15/3月期 今回予想 通期 (e) 11.7公表	比較増減
原 油	販売量	1,902	2,517	+615
	売上高	119,370	152,258	+32,887

権益原油の内訳

国産原油	販売量	390	378	▲12
	売上高	27,391	25,524	▲1,868
海外原油	販売量	280	1,059	+779
	売上高	18,070	63,496	+45,426
ビチューメン	販売量	342	330	▲13
	売上高	10,962	11,471	+509

原油価格と為替の前提

原油CIF	USD/bbl	110.51	101.27	▲9.24
為替	円/USD	99.31	103.43	+4.12
ビチューメン	CAD/bbl	51.67	58.16	+6.49
為替	円/CAD	98.42	95.00	▲3.42

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は買入原油を除いており、「ビチューメン」の価格及び売上高はロイヤリティー控除後の数値です。また、「海外原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社であるJapex (U.S.) Corp.、JAPEX Montney Ltd.、株式会社ジャベックスグラフの数値を記載しています。

15/3月期 通期 業績予想 修正(前期比)

単位：百万円	14/3月期	15/3月期	比較増減
	通期実績 (a)	今回予想 通期 (e) 11.7公表	
売上高	276,588	324,378	+47,789
売上総利益	66,127	72,981	+6,853
探鉱費	9,800	4,712	▲5,088
販売管費	31,692	33,588	+1,895
営業利益	24,634	34,681	+10,047
営業外損益	19,255	14,138	▲5,117
経常利益	43,889	48,819	+4,930
特別損益	▲8,305	▲10	+8,296
法人税等	5,566	11,000	+5,433
少数株主利益	1,002	2,436	+1,433
当期純利益	29,015	35,374	+6,359

損益変動要因 (MEMO)
「増益要因を +」、「減益要因を ▲」
で記載

売上総利益

国内原油天然ガス +16億円
海外連結子会社 +54億円

探鉱費

国内探鉱 +54億円
海外探鉱 ▲3億円

営業外損益

持分法投資利益 ▲26億円
海外投資等損失引当金繰入額 ▲7億円
その他 ▲13億円

特別損益

(前期計上特別損益の影響額)
勇払油ガス田の生産操業
に係る事業用資産の減損 +79億円

油価・為替の前提及び収益への影響：対象期間 3Q-4Q

		2014年3月期			2015年3月期				
		1H (a)	2H (a)	1Q-4Q(a)	1stQ(a)	2ndQ(a)	3rdQ(e)	4thQ(e)	1Q-4Q(e)
原油CIF	USD/bbl	108.53	112.33	110.51	109.51	110.70	100.00	85.00	101.27
為替	円/USD	97.58	100.84	99.31	102.27	101.96	105.00	105.00	103.43
ビチューメン	CAD/bbl	52.22	51.16	51.67	56.57	61.84	55.83	59.27	58.16
為替	円/CAD	94.01	98.42	98.42	93.17	95.04	98.04	95.00	95.00

油価と為替
の前提
対象[3Q-4Q]

原油CIF価格
USD 92.43/bbl

為替
105.00円/USD

ビチューメン (4thQ)
CAD 59.27/bbl
(95.00 円/CAD)

収益 影響額
対象[3Q-4Q]

USD 1 /bbl の
油価上昇 による
利益増加額は…



1円/USD の
円安 による
利益増加額は…



CAD 1 /bbl の
ビチューメン価格上昇
による利益増加額は…



営業利益	190 百万円	300 百万円	(111 万CAD) 110 百万円
当期純利益	140 百万円	140 百万円	(71 万CAD) 70 百万円

注：為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生します。
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因によっても影響されます。